

【教育活動の名称】 読書課題

【学校名】 滋賀県立 瀬田工業高等 学校

1 本校の概要

全日制（機械科 120 名／電気科 120 名／化学工業科 40 名）1 学年 7 クラス（機械科 3 クラス／電気科 3 クラス／化学工業科 1 クラス）

「質実剛健」を校訓とし、どの科も、「ものづくり」の現場で必要とされる伝統的な技術や最先端の技術、望ましい勤労観を学び、地域や日本の産業を支える技術者となる人材を育成している。

2 取り組んだ内容

(1) 読書課題用の資料整備

日頃、読書をあまりしない生徒が本を手取るきっかけになるよう、全校一斉の読書課題の時間を年 2 回設けている。本に馴染みのない生徒でも興味をもって読むような本を揃えて提供する必要があるが、予算がなく、なかなか新しい本に更新できず、古い同じ本を繰り返し提供することになっていた。今回、集団読書用の文庫本を現在の生徒が読みやすい、新しいものに 6 年ぶりに追加更新できた。

- ・『か「く」「し」「ご」と「」』（住野よる）
- ・『キケン』（有川ひろ）
- ・『短編 学校』（井上荒野ほか）
- ・『お探し物は図書室まで』（青山美智子）
- ・『君に恋をするなんて、ありえないはずだった』（筏田かつら）

(2) 読書課題の実施

読んだ本の記録

書名			
著者			
出版社	出版年	読んだ本の数(冊)を記入してください	
読めし ページ数	クラス		
評価	☆☆☆☆☆	氏名	

感想・読んだところまでのあしすじ.....

最近、読んで良かった本や書きたい本があれば、ぜひ教えてください。  
瀬田工業図書館検索サイトに掲載させていただきます。 (〇〇) / (匿名掲載)

読名 氏名

この本の 著者 著者名

この本の 著者 著者名

この本の 著者 著者名

全校生徒分の本を準備し、各クラスに学級文庫として図書館から提供し、「読書課題」の時間に読書する。読めたところまでの感想やあらすじをまとめさせる。また書名や出版社など、本の奥付からの情報も記入させ、調べ学習の際に、参考にした

資料の出典を書く練習もさせる。

3 活動の成果

〈生徒の感想より〉

\* 『か「く」「し」「ご」と「」』

「5人それぞれが特別な力を持っているからこそその雰囲気面白かった。高校生って感じの青春を小説から感じられてよかった。読んでみると先がどうなっていくか気になって、没頭して読める本でした。」「今までの本と違い、とても面白い」

\* 『キケン』

「舞台が工業大学のサークルで、僕たち瀬田工業の生徒に近い登場人物で、とても共感できる話でした」「理系男子の楽しい話でした」

\* 『短編 学校』

「また短編小説を読みたいと思いました」「わかりやすい本で面白かった」「何気ない一文が後の展開の重要な謎につながっており、とても面白かった」

\* 『君に恋をするなんて、ありえないはずだった』

「ラブストーリーならではの展開がとてもじっくり来た」「性格や感じ方の違いで、すれ違いが起きたりするところが魅力に感じて、面白かった」「うらやましくなる話だった」

\* 『お探し物は図書室まで』

「『ぐりとぐら』の本がこんなにも人の心を変化させるものかと思いました。本は人に大きな影響を与えるものなのだと改めて思いました」



「日頃、本を読む習慣がないため、今回の読書に集中する時間はとても新鮮な感覚があった」という感想や「続きが気になる」と書いている生徒が非常に多く、新しい本が好評だった。課題時間の後、「続きが読みたい」と実際に図書館まで借りに来る生徒もおり、読書のきっかけづくりの時間にすることができた。